

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		R 5（2023）					
事業番号	45	事業名	健康づくり計画推進事業		担当課		健康推進課					
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-2-1 健康づくり計画推進事業					
			(大事業名) 健康づくり推進事業		決算書ページ		151	～	152	一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		事業開始の背景	健康増進法に基づき平成15年度に策定した「健康づくり計画」を推進するため、平成16年度から事業を開始した。その後、平成25年度に「健康づくり計画（第2次）」を策定し、継続して健康づくり事業に取り組んでいる。					
		政策	3	いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進								
		施策	(1)	市民の健康づくり							市民・民間事業者との連携協働の可能性	
	その他	開始年度		平成16年度								
		終了予定年度		☐	年度						☒	未定
		根拠法令等		健康増進法								
	関連計画		長久手市健康づくり計画									
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）					
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 6万人 【事業内容】 ラジオ体操第一の普及、8520・9020運動、健康マイレージ事業、がん患者補整具購入費助成金交付事業など、生涯を通じた健康づくりへの取組を推進します。		【アクションプラン指標】 健康マイレージ優待カード発行者数 【その他の指標】 健康マイレージ達成者数 アピアランスケア支援事業助成金交付者数 8520・9020運動表彰者数		幅広い年代の健康づくりの取組を支援することで、市民が自分の健康に関心を持ち、自ら健康づくりに取り組む人が増える。 (成果指標名) 市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20歳以上）		大 事 業 共 通 市民の生涯にわたる健康の保持増進を図り、健康寿命が延伸する。				

	活動指標名	単位	基準値（2018年） 目標値（2023年）※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
II 活動状況（アウトプットの詳細）	1 【アクションプラン事業】 健康マイレージ優待カード発行者数【単年】	人	基準値	316	見込	330	420	440	460	480
			目標値	330	実績	247				
	2 【その他指標】 健康マイレージ達成者数【単年】※アプリ参加者で、ポイントを達成しても優待カードを発行しない者がいるため変更	人	基準値		見込	400	420	440	460	480
			目標値		実績	344				
	3 【その他指標】 アピアランスケア支援事業助成金交付者数	人	基準値		見込	25	30	30	30	30
			目標値		実績	28				
	4 【その他指標】 8520・9020運動表彰者数	人	基準値		見込	38	50	50	50	50
			目標値		実績	50				
Eピソード	事業開始からの経緯									
	平成25年度に策定した「健康づくり計画(第2次)」に基づき、基本目標である「健康寿命の延伸」を達成するため、健康に対する啓発を目的に健康教育、8520・9020運動、禁煙外来治療費助成、健康マイレージ事業などを展開し、市民の健康づくり事業を推進している。令和4年度はがん患者補整具購入費助成、令和5年度は若年がん患者在宅療養支援事業を開始し、助成事業の拡大を図った。									
	R5(2023)年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由									
	・健康マイレージ達成者344人のうち、213人がアプリで参加した。 ・健康マイレージアプリでの歩数ポイントの付与条件を見直したことで、達成者数は減少したが、参加者は増加傾向であり、目標値を達成した。 ・ラジオ体操第一の普及、実施支援として、グループで取り組んだ人に対して記念品を贈呈しており、556人に贈呈した（令和4年度474人）。 ・令和4年度から開始したがん患者補整具購入費助成では、令和4年度は17人に助成し、令和5年度は28人に助成した。がん患者の就労や社会参加を支援し、病気の有無に関わらない健康づくりの推進も行っている。									

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20歳以上）	%	年度		年度		【現状】 R5 年度		R10 年度		R15 年度		
								74		80		85		
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				20歳以上の成人全体では74.2%であるが、年代別で最も高い60歳代の現状値84.5%を成人全体の目標値として設定した。							
	評価の理由、分析													
	市民全体の健康度をはかる指標としては「健康寿命」があるが、健康づくり計画の評価のために行う市民アンケートで、主観的健康観や健康を意識した生活をしているかを調査し、健康を意識する人を増やして、生涯にわたる健康の保持増進を図っていく予定である。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度中に策定する健康づくり計画（第3次）に基づき、幅広い世代に対して健康づくりを推進して、生涯にわたる健康の保持増進、健康寿命の延伸を図っていく必要があるため。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度	
		C	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算	
			C. 縮小 D. 廃止			6,937	5,994	4,413	1,715	2,031	
		理由			特定財源	合計額	869	584	372	226	396
		個々の事業は継続して実施する予定であるが、令和6年度に健康づくり計画（第3次）を策定完了予定であり、策定支援業務委託分が減額となるため				(内 国費)					
						(内 県費)	869	584	372	226	396
						(内 諸収入)					
						(内 その他)					
		積算額			一般財源		6,068	5,410	4,041	1,489	1,635
		計画策定支援業務委託 -4,000千円			R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞						
		8520運動表彰式記念品 105千円（99千円） 9020運動表彰式記念品 45千円（33千円） 消耗品費 429千円（355千円） 食糧費 3千円（3千円） 印刷製本費 368千円（354千円） 広報折込手数料 89千円（89千円） メンタルチェックシステム委託 59千円（55千円） 健康づくり計画策定支援業務委託 4,000千円（4,000千円） 道路通行料 13千円（13千円） 禁煙外来治療費助成金 80千円（100千円） 骨髄移植ドナー助成金 210千円（210千円） 健康マイレージ事業負担金 144千円（183千円） アピアランスケア支援事業助成金 600千円（500千円） 若年がん患者在宅療養支援事業助成金 792千円（792千円（補正予算））									